



the piano trio "Latte" ピアノトリオ「ラテ」プロフィール

2002年秋に結成。2003年よりライブ活動を開始。2003年、2004年には「くちゅんジャズフェスティバル」に出演。同2004年には、3rdアルバム『Rendez-Vous』（ランデヴー）発売記念全国ツアー（各14回）を敢行。その高い音楽性が評価され、有名ミュージシャンや国内ゴスペルクワイヤーのコンサートなどでバックを務める傍ら、他楽隊重要部とのコラボレーションツアーなど、積極的に国内・全国ツアーを行い、各地で好評を得ず。現在までLive版アルバム2枚、スタジオ版アルバム3枚、他楽隊重要部とのコラボレーションアルバム1枚、計12枚のアルバムを発表。そして2013年の新作は、今までのインスト路線を大幅転換し、歌モノでも勝負。「初音ミク」もフィーチャーした新曲「バナナのうた」を引っかけて、「Rendez-Vous」を全国に、そして全世界に発信すべく精力的に活動中!!（短めアルバム（22分））2014年に結成。ジャン4に引け合い、その高い音楽性が評価され、有名ミュージシャンや国内ゴスペルクワイヤーのコンサートなどでバックを務める傍ら、他楽隊重要部とのコラボレーションツアーなど活動は多岐に。毎年アルバムをリリースし、精力的に全国ツアーを行い、現在までLive版アルバム2、スタジオ版アルバム3、他楽隊重要部とのコラボレーションアルバム1、の計12枚のアルバムを発表。2014年には通算13枚目で歌モノで初音ミクも取り入れたアルバムをリリース。全5曲収録のLatte HP

<http://latteok.jp/>

★佐藤 裕一 (Drums & Cajon)

大学在学中に本格的にドラム演奏に取り組み、Drumsを村石雅行氏に師事。卒業後、東京・札幌を中心に数々のレコーディング（CMなど）やライブ活動を行う。現在、札幌在住にて北海道を中心に様々なスタイルでツアー活動を展開。ピアノトリオ「Latte」、アコースティックインスト・カルメン・ル・コンコルト「M-TORY BOX」は人気を博している。他にも、自らのグループやサポート参加しているユニットでのCD発表数は30作品以上に及ぶ。その活躍ぶりは雑誌「ジャズ批評」2008年8月号の特集記事で紹介されたことがある。後継的なCajon（カホン）の演奏スタイルが各地で注目されている。また、作詞、作曲を多数手掛け、高い評価を受けている。それらの活動の一方で日本語表現の研鑽も怠る。ホームページ

<http://homepage2.nifty.com/kyosaku/singer/index2.html> 共演歴/高橋グタス、森島良彦、佐野聡、都筑孝典、津田博道、中島健、A-LIS、バジム、サンブラザ中野、大黒摩季、池田通也、森村誠、斎藤雅也、赤木りん、宮野弘記



★藤田圭一郎 (Bass)

幼少よりヴァイオリンを始め、高校に入ってからバンドに目覚める。高校卒業後にアメリカの大学へ音楽留学し、ジャズやファンなどの学習を始め、帰国。所属したJamやFunkはもちろん、ポップスからハード・ロックまでこなすマルチプレイヤー。世界的Jazzプレイヤー・世界権威のジャズでは、ロードスターの新しい特異な構成にも参加する。もはやエレキベースの常識を越えたサウンドで見事にバンドをまとめあげ、顧客を魅了。また、2009年リットーミュージック主催「最優秀プレイヤーズコンテスト」にてグランプリを受賞。各賞共に日本人の称号を得る。現在もその音楽世界を広げるべく全国各地で活躍中。ホームページ <http://kyofuchinaka.com/> 共演歴/菅沼孝三、神田新、山下和彦、徳山真一郎、ハイスバジム、ZooCo、一十三孝一、黒谷静枝、黒野純男、ジャズ山中 記



★ピアノ 寺西幸子

子
札幌を拠点に、ジャンクに引け合い、その卓越したテクニックとセンスで、セッションや国内外の有名ヴォーカリストのバックをつとめる等、数多くのライブ活動を行っている。また自身が主催したピアノ・教本ももっと上手にピアノが弾けるハッピーメロディ出版のマルチアングラント書籍が全国で好評発売中。